

令和6年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市海と森ふれあい体験館		
指定管理者	団体名	特定非営利活動法人 シェルフオレスト川内	
	代表者	理 事 長 内 田 征 吾	
	所在地	むつ市川内町川内477番地	
指 定 期 間	令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日（3年間）		
指 定 管 理 業務の概要	地域の海・山等の豊かな自然を活用した、地域住民の生涯学習の場及び地域を担っていく子供たちの総合学習の拠点であり、地域の伝統文化の情報発信に寄与することを目的とした施設である。設置目的を踏まえ地域の活性化を図るため、利便性を向上させる運営に取り組む。		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②－①)
収 入 合 計 (A)	10,093	10,127	34
うち利用料金額	36	28	▲8
うち指定管理料	9,921	9,921	0
その他収入	136	177	41
支 出 合 計 (B)	10,093	7,000	▲3,093
うち人件費	6,518	2,756	▲3,762
収支差 (A－B)	0	3,127	3,127
市 へ の 納 入 金	0	0	0
計画額と比較した 実績額の増減理由	人件費：雇用人員 社員2名 パート1名を見込んでいたが、求人しても採用出来なかったことから、社員1名の雇用となった。		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②－①)
	指定事業	8,370	7,082	▲1,288
	自主事業	1,630	4,523	2,893
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有） さまざまなイベントを行い、継続的な実施が望まれてため、指定事業・自主事業ともに工夫しながら実施し、利用者数の増加に努めた。11月に実施した自主事業「GOMA展」では、2,590名の来館者となった。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事 業 名	利 用 者 数	収 入	支 出
①親子でイルカウォッチング@むつ湾	28	0	26,414
②むつ川内ホタテフェスティバル	1,800	103,700	302,350
③かわうち・まりん・びーちクリーンアップ	中止	0	0
④GOMA展 KAWAUCHI	2,590	1,583,102	921,417

⑤下北の海と海洋ゴミ展	77	0	11,709
⑥イグルー作り体験	28	15,200	182,347

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	A
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	A	A
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	A
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	A
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価

⑩指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、改善策も記載すること。

- (1) ③来館者と積極的にコミュニケーションを図りようにし、館内に展示している魚の特徴についての説明や、周辺の観光情報など、来館者が知りたい情報を提供できるようにしている。
- (1) ④来館者へのアンケートを日常的に実施しており、特に「トイレがきれいよかった」という声を多くいただくため、清掃作業を丁寧に行っている。
- (2) ③自主事業「GOMA展」を実施したことで、施設の認知度や地域の方々に広く施設の存在を知って頂くことができ、今後の利用促進につながることができた。

7. 市の所管課総合評価

⑩所管課は当該評価期間における総合評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、指導内容も記載すること。

貸館利用者が年々減少傾向にあるが、自主事業「GOMA展」を実施し、利用者数が前年比約3倍に増

加したことから、今後も積極的な利用促進を継続できるよう期待したい。また、今後も川内・脇野沢を中心とした事業展開を期待したい。

施設の備品の更新については、指定管理料の枠組みで行い、施設の長寿命化に貢献している。ただし、人員配置は、地域おこし協力隊に頼らずに館の運営ができるよう適切な人員の確保をお願いしたい。